

犯罪や非行のない幸せな社会に

犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す“社会を明るくする運動”の7月強調月間・再犯防止啓発月間に合わせて、富岡甘楽「社明」推進委員会のパレードが7月3日、甘楽町役場を訪問しました。

今年で68回目を迎えた同運動は、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

内閣総理大臣からのメッセージを富岡甘楽保護司会の安藤幸隆さん(秋畑)が、また、群馬県更生保護女性会員からのメッセージを町更生保護女性会の中野恵理子さん(国峰)が朗読し、町や地域の積極的な参加を呼びかけました。



メッセージを朗読する安藤さん



食 生活の向上に尽力 松嶋さん

松嶋まき子さん(上野・19区)は6月21日、食生活の改善に努め献身的に活躍した功績により、県食生活改善推進員連絡協議会から地区功労賞を受賞しました。

松嶋さんは昭和60年に町食生活改善推進協議会へ入会し、同会の会長職などを務められ、現在も会員として町民の食生活の改善・向上に尽力されています。

松嶋さんは「先輩方に指導していただいたことが家族のためにもなり、感謝しています。これからも食の大切さを多くの人に伝えていきたいです」と話されました。

町 を彩るコンテナガーデン 生活改善グループ

甘楽町生活改善グループ連絡協議会(荻野員子会長)は6月21日、町内施設に設置しているプランターに花の苗の植え替え作業を行いました。

同会は、はこべの会、天引婦人の家グループ、裏根グループ、佐久間リング婦人部が所属する女性グループです。

今回はバーベナやエキナセアなど4種類の花を寄せ植えし、役場やにこにこ甘楽、楽山園、甘楽ふるさと館など町内9カ所へ届けました。

荻野会長は「涼しい色合いの花で爽やかにまとまりました。夏から秋まで訪れる人の目を楽しませてくれると思います」と話されました。



生活改善グループの皆さん

地域の防犯活動に尽力

富岡甘楽地区防犯協会の定期総会が6月28日、JAヴァンヴェール富岡で開かれ、長年の地域の防犯活動に尽力された2人が表彰されました。

堀口幸雄さん(天引)は19年間、横山真一さん(福島)は13年間にわたり防犯委員として、防犯診断や防犯パトロールなど地域の防犯活動を積極的に推進しています。



堀口さん



横山さん

共に楽しむ読み聞かせ

講師の小柳さん(中央)から読み聞かせのポイントを学ぶ参加者



ボランティアグループ「せせらぎお話隊」は7月4日、小幡小学校図書室で読み聞かせ勉強会を開きました。

高崎健康福祉大学非常勤講師の小柳聡美さん(金井)を講師に迎え、町内の幼稚園・小学校の保護者など約40人が読み聞かせにあたっての絵本の選び方や読み方などを学びました。

小柳さんは自身の体験からのエピソードも紹介し、「読み聞かせは、読み手と聞く側が共に楽しむ時間。読み手は役者になる必要はなく、心を込めて読めばいいだけ」と語りました。

初めて参加した田彦志保さん(善慶寺)は「あまり構えず、読み聞かせはもっと気楽にできるものだと分かった」と話しました。

文化活動・社会教育の発展に尽力

甘楽郡社会教育振興協議会第37回定期総会が6月20日、町公民館大会議室で開かれ、1個人と1団体が表彰されました。

社会教育功労者の部で表彰された宮川真澄さん(福島)は、コーラス「若草」で長年歌唱指導や施設慰問などを行い、町ふるさとコンサートの童謡詩の作曲に携わるなど、町の文化行政や社会教育・生涯学習などの発展に尽力されました。

社会教育優良団体の部で表彰された写友かんら(小林昭栄代表)は町公民館教室の仲間を中心に平成12年に発足し、写真を自由に楽しみ、定期的なクラブ写真展示会のほか産業文化祭やら・ら・かんらで展示を行うなど、町の文化活動に大きく貢献しています。



宮川さん



(写友かんら) 小林代表

福 島ガッツ優勝！ 県大会へ



第49回群馬県少年学童軟式野球大会富岡支部予選大会が6月9日から30日まで富岡市と下仁田町で開かれ、福島ガッツ(加藤 薫監督・金井俐樹主将)が優勝しました。同チームは8月4日から上毛新聞敷島球場(前橋市)ほかで行われる県大会に出場します。

金井主将は「どのチームも強豪揃いで一戦一戦苦しい試合運びが多かったが、前回の大会で敗退した悔しさがここ一番の強さを生んだと思います。県大会では全員で一丸となり最後まで粘り抜く野球をし、30年ぶりに優勝旗を持って帰りたいです」と話してくれました。

また、第27回群馬県スポーツ少年団秋季軟式野球球交流大会西毛地区予選会でもブロック優勝し、8月13日から開かれる県大会にも出場します。

稲 含塾で野焼きパン

野外活動グループ稲含塾(浅香勇二代表)の「野焼きパンとカレー作り」が6月10日、旧甘楽第三中学校校庭で開かれました。

雨模様の中、町内の小学生と保護者約100人が参加し、ビニールシートを張った屋根の下で、竹棒に巻き付けたパン生地を炭火で焼き、カレーと一緒に食べました。

参加した高橋陽和さん(小幡小3年)は「みんなで作るのが、とても楽しかった。パンはモチモチしていておいしかった」と話してくれました。



真 剣勝負！ はじめての将棋教室



講師のアドバイスを受けて対局する児童

夏休み子ども教室の「はじめての将棋教室」が7月14日に県指定史跡の松浦氏屋敷で開かれました。(全5回・8月11日まで)

山田光雄さん(福島)と山田隆義さん(福島)を講師に迎え、町内の3～6年生11人が参加しました。

参加した児童は講師から将棋の駒の種類や動かし方などを楽しく学んだ後、真剣な表情で盤面に向かい対局しました。

新井温人くん(福島小3年)は「家でもおじいちゃんと将棋をしている。今日は最後に負けてしまいくやしかったので、もっと練習して強くなりたい」と話してくれました。

第2分団第1部優勝！県大会へ



「放水はじめ！」

平成30年度富岡甘楽地区消防ポンプ操法競技大会が7月8日、富岡市北部運動公園で開かれました。

甘楽町消防団からは、ポンプ車の部に第2分団第1部(15・16・17・18・19・20-1・20-2・21区)が出場し、日ごろの練習の成果を発揮し、見事優勝に輝きました。

優勝した第2分団第1部は、8月18日に群馬県消防学校で行われる県大会へ出場します。選手はこれからさらに訓練を重ね、県大会へ臨みます。

暑さに負けず、全力疾走した選手の皆さんを紹介します。



全力で走る1番員

ポンプ車の部 優勝の2-1部 (敬称略)

| | |
|-----|--------|
| 指揮者 | 青木 功 |
| 1番員 | 浅香 堯之 |
| 2番員 | 中嶋 慧二郎 |
| 3番員 | 蛭田 卓磨 |
| 4番員 | 新井 司 |
| 補助員 | 井野口 隼 |



グロスの部

(写真上・左から中野さん、田村さん、岡野さん)

- 優勝 田村峰嗣さん(秋畑)
- 準優勝 中野 茂さん(善慶寺)
- 第3位 岡野 明さん(善慶寺)

一般の部

- 優勝 加藤和弘さん(善慶寺)
- 準優勝 由田幸好さん(上野)
- 第3位 中野 茂さん(善慶寺)

シニア・レディースの部

- 優勝 吉田 宝さん(金井)
- 準優勝 三木義文さん(金井)
- 第3位 三木秀雄さん(金井)

爽やかにプレー 町ゴルフ大会

第47回甘楽町ゴルフ大会が7月3日、甘楽カントリークラブで行われました。

夏空の下、112人の選手が日ごろの練習の成果を競いました。競技は18ホール新ペリア方式で行われ、各部門の上位入賞者は次のとおりです。

グロスの部上位3人は、9月26日に渋川市で開催される第30回群馬県市町村(地区)対抗ゴルフ選手権に町代表として出場予定です。

上 達のヒントを学ぶ ソフトテニス交流



講習会では浅川さんが中心となり、ボールを飛ばす方法や打ち分ける技術などを指導し、子どもたちは上達するためのさまざまな技や効果的なトレーニング方法を学びました。

甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ(外所淳也代表)キャプテンの今井晴道くん(福島小6年)は「バックハンドの練習でボールが飛ぶようになったので、次はもっと強く打てるようになりたい。とても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

甘楽町ソフトテニス連盟(金井直二会長)は友好都市である東京都北区のソフトテニス連盟(高川庚三会長)と合同で6月23日、総合公園テニスコートで「第9回ジュニアソフトテニスアカデミー in甘楽2018」を開きました。

今回は日本代表女子コーチの高川経生さんと日本のトッププレーヤーとして活躍された浅川陽介さん・川端優紀さんを講師に迎え、約80人の小学生が指導を受けました。



トッププレーヤーから指導を受けて技術を学ぶ子どもたち

親子で力を合わせて木工広場

第34回甘楽町親と子の木工広場(富岡木材組合・町建設業協会・県建築業組合連合会甘楽支部主催)が7月22日、富岡製材協同組合プレカット工場(白倉)で開かれました。

小学生とその保護者約200人が県産木材を使用した木工作品作りに挑戦しました。

参加者は親子で協力しながら、机やいす、飾り棚、宝箱など思い思いの作品を作りました。

完成した作品は、8月2日から12日までら・ら・かんらに展示されます。ぜひご覧ください。



箱の中に広がる不思議な世界

おもしろ科学教室「不思議アートのぞき箱を作ろう」が7月21日、町公民館で開かれました。

県生涯学習センターのサイエンスインストラクターの指導のもと、町内の小学生21人が、ポリカーボネイトミラーを貼り合わせた立方体の万華鏡を作りました。

参加した児童は箱を完成させると、小さなのぞき穴から自分の描いた模様が立体的に広がる様子を見て楽しみ、不思議な世界を体験しました。

